



第18回 城下町村上 町屋の人形さま巡り

これが村上のおもてなし



春の風物詩「人形さま巡り」

3月1日～4月3日の約一か月間、村上市旧町人町一帯を会場に「第18回城下町村上町屋の人形さま巡り」が開催され、多くの観光客が訪れました。

江戸時代から現代までの人形約4千体を各町屋で展示するこの催しは、すっかり村上の春の風物詩となつていきます。

3月1日の開幕式では、今回の実行委員長の小杉喜世子さん（小杉漆器店）が「お越しいただいた人に、各家の人形にまつわる話などを通して、村上ならではのおもてなしを感じてほしいです」とあいさつ。村上小学校の3年生が「たのしいひなまつり」の歌を元気よく披露し、人形さま巡りが開幕しました。

児童や生徒がおもてなし

開催期間中には、村上小学校の5年生が、自分たちで調べて手づくりした観光マップを、村上南小学校の5年生は、昨年のポスターを使って作製した手提げ紙バックを観光客に手渡し、観光ボランティアとして活躍しました。

また、村上中等教育学校の2年生も実際に店舗で接客マナーを学びながら、観光客をもてなしていました。



▲「S L 村上ひな街道号」が村上駅に到着（3月25日、26日）



▲ちびっこおひな様やサケリンが観光客をお出迎え



▲駅前歓迎イベントでは甘酒や村上茶がふるまわれた



▲村上南小学校5年生が手作り紙バックを観光客に（3月10日）



▲村上小学校5年生が手作り観光パンフレットを観光客に（3月4日）



▲トキ屋台の巡行に観光客も大興奮（3月11日）



▲黒塀通りでは、人力車の無料試乗でおもてなし（3月25日、26日）



▲今年から始まったワンコインで食べ歩きぷちグルメ。人気の食べ物は、午前中に売り切れてしまうほど大好評。現在、庭百景めぐりでも開催中。

新たな催しも

さらなる活性化に向けて、新しい取り組みも始まりました。村上小学校の6年生が発案した「食べ歩きぷちグルメ」を開催し、飲食店や商店34軒が、鮭や村上牛、お茶など村上が誇る食材を使ったコロッケやお菓子を手ごろな価格で提供。食べ歩きしながら人形さま巡りをする観光客や地元の子どもの姿が見られました。

子どもからお年寄りまで、各世代が観光客をおもてなしする光景は、情けのまち村上ならではのと言えるのではないのでしょうか。